

「女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会」
第4回リーダーミーティング 開催概要

○日時：令和7年12月24日（水）14:00～16:00

○場所：ホテルブエナビスタ 3階「グランデ」（松本市本庄 1-2-1）

○出席者（氏名五十音順・敬称略）

53名

（メンバー（代理出席者含む）31名、県内企業等で働く女性、地域で活動する女性等22名）

【メンバー】24名

相場 はるか	ゴコー電工株式会社 代表取締役
阿部 守一	長野県 知事
伊藤 由郁紀	株式会社守谷商会 代表取締役社長
江沢 岸生	飯山市 市長
岡本 洋平	株式会社戦略デザインラボ 代表取締役
小川 修一	千曲市 市長
奥原 秀一	木祖村 村長
春日 孝之	NiKKi Fron株式会社 代表取締役社長
金子 行宏	シナノケンシ株式会社 代表取締役社長
久保田 一臣	株式会社タカチホ 代表取締役社長
古後 理栄	株式会社Ccobi 代表取締役社長
坂家 重吉	大桑村 村長
関 友樹	株式会社ミールケア 代表取締役
長浦 とし子	NPO 法人元気お届け隊 理事長
西澤 忠司	長野県労働金庫 理事長
花岡 利夫	東御市 市長
本多 豊	東特巻線株式会社 代表取締役社長
松下 正樹	株式会社八十二銀行 頭取
丸山 将一	エムケー精工株式会社 代表取締役社長
水野 雅義	ホクト株式会社 代表取締役社長
百瀬 敏	塩尻市 市長
森川 英樹	コトブキ通商株式会社 代表取締役社長
柳田 清二	佐久市 市長
吉田 寧裕	吉田工業株式会社 代表取締役社長

【代理出席者】7名

臼井 洋一	坂城町 副町長
荻野 邦子	株式会社Tiuchie 専務取締役
竹内 雄次	長野県信用組合 常勤理事
中村 正人	長野県商工会連合会 専務理事
宮阪 利広	野村ユニソン株式会社 専務取締役
持田 詩乃	ケラッタ株式会社 管理部部長
山岸 泰幸	株式会社サンクゼール 執行役員

【県内企業等で働く女性、地域で活動する女性等】22名

○概要

1 開会挨拶

阿部 守一（長野県知事／発起人）



「女性が県外に流出してしまう状況や活躍の場が限られている現状を変えていくために行政だけでなく、企業や地域の皆さんと問題意識を共有し、同じ方向を向いて取り組むことが重要。長野県知事、そして全国知事会会長として「現場から、日本を動かす。」という姿勢で、長野県からジェンダー平等を進めていくため、一緒に取り組んでいきましょう。」との発言がありました。

2 事例報告

「経営に活かすジェンダー論 ワークショップ報告」

林 智子 氏（みすずレディースクリニック事務長）



「企業におけるジェンダー平等の取組が進む一方、変革にはトップ層の意識改革が不可欠」との問題意識から、令和7年11月26日に開催された「経営に活かすジェンダー論ワークショップ」で出された意見及び分析の報告がありました。「ワークショップを通じて、参加者に立場の違いによる結果の差を疑似体験してもらった。性別によって担当する業務に違いがあり、依然として構造的に女性が不利となる現状がある。」とのお話がありました。その上で、「ワークショップから得られた知見に基づき経済団体への提言を行う予定」と今後の取組も報告いただきました。



3 意見交換

（1）グループごとの意見交換

企業グループテーマ：誰もが働きやすい職場にするために

自治体グループテーマ：地域活動への女性の参画を進めるために



企業グループと自治体グループに分かれ、意見交換を行いました。企業グループには県内企業等で働く女性が、自治体グループには地域で活動する女性等が参加しました。テーマに沿った率直で活発な意見交換となりました。

(2) 全体発表



各グループの代表者が、グループ内の議論内容や、今後取り組んでいきたいことを中心に発表しました。

【企業グループからの主な発表内容】

- 仕事の属人化をどのように防ぐか。長い目で見たときのリスクの軽減がキーワードになる。
- リーダーが揺らがない強い意志を持ち続けることが重要。
- 制度があっても意識がついてきていないのではないか。見えない役割分担があるのではないか。制度は時代の変化とともにアップデートする必要がある。
- コミュニケーションが課題であり、組織として、風通しの良い環境づくりが必要。



【自治体グループからの主な発表内容】

- 地域活動の内容が古く、アップデートされていない。様々な人の意見を取り入れて、活動内容自体を興味深いものに変えていくのはどうか。
- 性別によって自治会の役職が決まっている状態を変えていくべき。
- 女性の発言が重んじられないことがある。風通しの良い環境や、出やすい会議などの場を作るなど、雰囲気づくりや意識改革が必要。



4 閉会挨拶

丸山 将一 氏（エムケー精工株式会社 代表取締役社長／発起人）



「固定的性別役割分担意識は時代と共に変化してきており、工夫により産業の成長になる可能性がある。課題は多いものの、ハードだけではなく、運用面のソフトと両面で本日のミーティングからヒントを得て、各地域に展開していくことが重要」との発言がありました。